

テーマ3

地域林業政策

テーマ3「地域林業政策」では、木質新素材を活用した新たなモデルの確立を目指し、本年度は関連するビジネス事例・起業事例を収集・分析し、事例集として整理します

テーマ3「地域林業政策」 実施概要

青字：前回からの更新箇所

テーマのビジョン (森ハブにおける将来像)

- 地域林業における「丸太オンリー」の生産構造からシフトし、木質新素材を活用した新たな地域経済モデルを確立
- 新素材原料として木材に新たな価値が見いだされることで、地域内外から新たな投資を呼び込み、技術開発の加速化と地域経済の好循環を促進

本年度のゴール

- 新たな地域経済モデルの確立に向けた端緒として、木質新素材を活用した地域ビジネスの起業促進を目的に、関連するビジネス事例の収集・類型化及び起業支援に資する情報整理し、事例集として取りまとめる

本年度の実施事項・成果物

■ 地域ビジネス事例集

はじめに

1. 地域林業における新規ビジネス創出の必要性
2. 地域資源や新素材を活用したビジネス事例
 - (1) 掲載事例の概観と事例集のポイント
 - (2) ビジネス事例① (杉圧縮技術による家具づくり)
 - (3) ビジネス事例② (アテビ等を原料とするクラフトジンの開発)
 - (4) ビジネス事例③ (銘木を使った手作り筆記具)
 - (5) ビジネス事例④ (地域材を使った単板化粧板の不燃化)
 - (6) ビジネス事例⑤ (放置竹林由来のバイオプラ開発)

【コラム】改質リグニン事業の紹介

- ・改質リグニンとは
- ・改質リグニン事業の可能性

3. 新規ビジネス立ち上げに向けて

専門委員会での協議事項 (案)

第1回

- 調査計画及びヒアリング候補先
- ビジネス事例集の位置づけ、目次案 (初期仮説) ・とりまとめイメージ

第2回

- ヒアリング調査結果の進捗報告

第3回

- 改質リグニン事業関連を含む、ヒアリング調査結果の報告
- ビジネス事例集の素案

第4回

- ビジネス事例集全体ドラフト案

第3回委員会のご意見を踏まえ、事例集の編集方針について見直しを行いました。

テーマ3 地域林業政策

項目	御意見概要	対応方針	第3回資料 対応箇所
事例集の 編集方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域林業政策で扱う事例については、“日本に何か所か事例で提示の産業があることで日本が誇れる産業ができるか”、という目線で見ている。個別の事業が成功するかどうかというより、日本の林業や木材全体をどのように考えていくかを考えていくべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事例集の編集方針を、各事例の技術開発要素を重視する方針から変更しました。 ■ なぜ、当該製品・サービスの開発に取り組んだのか、が読み手に伝わる構成を目指し、各事例について、市場へのアプローチ（マーケティング）を“主”とし、技術開発やサプライチェーン構築に関しては“従”の情報としてメリハリをつけた整理をしました。 	別添資料
	<ul style="list-style-type: none"> ■ なぜ参考事例として取り上げるか、選考の理由も明確化したほうがよい。ビジネスモデルのきっかけ、流通、体制の整備などを述べられるとよい。マーケティング目線、製造技術、コストなども有意義な情報ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上記の編集方針の下、全編を通じてマーケットへのアプローチの観点から、ビジネスモデルの特徴を表現するようにいたしました。 ■ 事例掲載理由の一つとして、地域林業においてはその環境から「プロダクトアウト」要素が強いビジネスが展開される傾向がある中、掲載事例は「マーケットイン」要素が相対的に強い事例と位置付けています。 ■ 上記以外に、注目される技術開発要素や地域事業者との連携も特徴として取り上げています。 	

地域林業にて新規ビジネスを進める取組みを対象に事例集としてとりまとめます。 あわせて改質リグニンのビジネスに関する情報発信も行います。

テーマ3「地域林業政策」 調査の進め方（一部改訂）

本日のご報告内容

1. 全体調査設計

- 事例集の位置づけ・目的ならびに目次案を整理・検討
 - 主に山村地域におけるビジネス事例に関してデスクトップ調査を行い、ヒアリング候補ロングリストを作成
 - ロングリスト対象とする事例
 - ・ 地域資源活用
 - ・ 新素材開発・販売
 - 参照資料
 1. 月刊誌「現代林業」 ※
 2. ニュース記事DB「Factiva」 ※
 3. ふるさと財団サイト ※
 4. その他
- ※いずれも最新2年分程度を想定

2. 現地ヒアリング調査

- ロングリストから優良事例を5件程度選定し、ヒアリング調査を実施
 - 調査項目（案）
 - ・ 新技術・新素材の活用理由・背景
 - ・ 新技術・新素材の活用時における課題
 - ・ ビジネスの成功要因、必要な支援

3. 木質新素材活用事業の実施可能性調査

- 2.現地ヒアリング調査対象先に、改質リグニン事業への参入可能性・課題についてヒアリング
- 上記結果を踏まえて、改質リグニン事業のメリット・デメリット・展開可能性について整理。また調査結果に関するコラムを作成し、事例集のコンテンツとして追加
 - 参考資料
 - ・ 脱炭素・循環経済の実現に向けたセルロースナノファイバー利活用ガイドライン（環境省）

4. 事務局案のとりまとめ

- ヒアリング調査結果を踏まえ、事例集をより詳細に成文化
 - 素案の作成（～10月）
 - 第3回専門委員会での検討（10月）
 - 事務局最終案の作成（～12月）

詳細は別添の事例集ドラフトをご参照いただき、全体を通じたメッセージの方向性について主にご意見いただきたい